

Dialogue 40 Introducing someone (人を紹介する)

口語訳

Roles: Kei=K, Mrs. McDonald=M, Heinrich=H
Kei is introducing Heinrich to Mrs. McDonald.

K: Mrs. McDonalds, this is my friend, Heinrich. He's from Switzerland.

M: Nice to meet you, Heinrich.

H: Nice to meet you, too.

K: Heinrich is a student at the International School.

H: I came to Japan in April.

K: Mrs. McDonald is my English teacher. She's from England.

H: Oh, that's nice.

K: She's a great teacher.

M: Well, thank you, Kei.... It was nice to meet you, Heinrich.

H: It was nice to meet you, too, Mrs. McDonald.

圭はハインリックにマクドナルド先生を紹介しています。

K. マクドナルド先生、こちらが僕の友達のハインリックです。彼はスイスから来たんです。

M. 会えてうれしいわ、ハインリック。

H. こちらこそお会いできてうれしいです。

K. ハインリックはインターナショナル・スクールの生徒なんです。

H. 4月に日本に来ました。

K. マクドナルド先生は僕の英語の先生。イングランドから来てるんだ。

H. わあ、それはすてきだね。

K. すごくいい先生だよ。

M. まあ、ありがとう、圭・・・。会えてよかったわ、ハインリック。

H. こちらこそお会いできてよかったです、マクドナルド先生。

Target Expressions

一人を紹介する表現

このダイアログのポイントは人に人を紹介する時・される時の表現の使い方よ。学校英語では、How do you do? と習った人も多いと思うけど、実際は余り使われないみたい。

人を紹介するとき

(自分がAさんをBさんに紹介する場合)

自分: B, this is A. A, this is B.

A: Nice to meet you, B.

B: Nice to meet you, too A.

* 自分: Bさん、こちらがAさんです。

Aさん、こちらがBさんです。

A: 初めましてBさん。

B: こちらこそ初めましてAさん。

初対面同士を合わせる場面なので2人の情報をだしましょう。

ここでは

Kei Mrs. McDonald

Heinrich is a student at the International School.

(「ハインリックはインターナショナル・スクールの生徒です。」と圭がマクドナルド先生にハインリックの紹介をしています。)

Kei Heinrich

Mrs. McDonald is my English teacher. She's from England. She's a great teacher.

(「マクドナルド先生は私の英語の先生です。彼女はイングランド出身です。すごくいい先生です。」)

Kei's Advice

～なぜこう訳すの？

逐語訳

Oh, that's nice. = 前の情報に対して「そうなんだ～」と驚いています。

Well = 会話表現の中でよく使われる単語でここでは言葉の切り出しの役割になります。ここでは前の発言に対して好感を持って出てきた言葉なのでうれしさと驚きを込めて「まあ」と訳しました。

(この対話は行数の制約上、紹介後すぐお別れしていますが実際の会話ではこれではややそっけない、唐突な印象となります。普通は紹介されたあと相手の興味のありそうな話題を探したりして和やかに会話を続けます。)

K. マクドナルド先生、これは僕の友達(ハインリック)です。彼はスイスから来ました。

M. あなたに会うことができてうれしいです、ハインリック。

H. 私もあなたに会うことができてうれしいです。

K. ハインリックはインターナショナル・スクールの生徒です。

H. 私は4月に日本へ来ました。

K. マクドナルド先生は私の英語の教師です。先生はイングランドの出身です。

H. ああ、それはすてきですね。

K. 彼女はすばらしい教師です。

M. さて、ありがとう、圭。あなたに会えてよかった、ハインリック。

H. こちらこそあなたに会えてよかったです、マクドナルド先生。

英語では相手の名前をちゃんとと言うのが礼儀正しいです。

出身地、趣味などを尋ねて話を盛り上げるのがいいでしょう。ただし、宗教や信条、年齢、既婚の有無などは初対面では聞かないほうがいいでしょう。

紹介する順番は、目下の人を先に目上の人に紹介するのがマナーです。

初めて会う人たちとの会合などあらたまった状況では、人を紹介するときに丁寧に肩書をつけます。どんな職業についているのか、どんな仕事をしているのか告げることもあります。例えば、

This is professor Mark Dent.

(こちらはマーク・デント教授です)

肩書きが無い場合は Mrs. Miss. Ms. Mr. を付けましょう。英語の場合は自分でこのような肩書きをつけて自己紹介することもよくあります。

I'm Ms. Tailor.

Target Expressions
一人を紹介する表現